

PUB-NO: JP401173140A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01173140 A
TITLE: FILE CONTROL METHOD

PUBN-DATE: July 7, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMASHITA, TOSHIYUKI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJI ELECTRIC CO LTD	

APPL-NO: JP62329441

APPL-DATE: December 28, 1987

INT-CL (IPC): G06F 12/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To quickly and accurately grasp the file abnormality by saving the result of detection when the file abnormality is detected in an on-line state and checking the saved information for identification of an incomplete file in an off-line state.

CONSTITUTION: When the file abnormality is detected in an on-line state, the result of this detection is saved. Then the saved information is checked in an off-line state for identification of an incomplete file. When a power supply is applied or reset, the saved information is confirmed, deleted and checked newly. Thus the file abnormality is detected at the start of a system and therefore a hang-up phenomenon of the system due to the file abnormality can be avoided. Furthermore a user can know the file abnormality caused in a working mode and can perform the due countermeasure to avoid the abnormal run of a program. Then the file abnormality can be checked and corrected at an optional time point. Thus it is possible to prevent the abnormal run due to the file abnormality for a program which works later in an on-line state.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A) 平1-173140

⑫ Int.Cl.⁴

G 06 F 12/00

識別記号

府内整理番号

302 B-8841-5B

⑬ 公開 平成1年(1989)7月7日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全9頁)

⑭ 発明の名称 ファイルの管理方法

⑮ 特願 昭62-329441

⑯ 出願 昭62(1987)12月28日

⑰ 発明者 山下俊幸 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会社内

⑱ 出願人 富士電機株式会社 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

⑲ 代理人 弁理士 並木昭夫 外1名

明細書

1 発明の名称

ファイルの管理方法

2 特許請求の範囲

計算機システムの補助記憶媒体上のデータ集合体(ファイル)をその管理情報にもとづき動的に管理するための管理方法であつて、

オンライン状態でファイルの異常を検出したときはその結果をセーブしておき、オフライン時には該セーブされた情報をチェックして不完全ファイルを識別し、マンマシンインターフェイス形式で誤りの修復を含む処理を可能にする一方、電源投入時またはリセット時には前記セーブされた情報の確認、削除および新たなチェックを含む処理を行なうことを特徴とするファイルの管理方法。

3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、計算機の補助記憶媒体上のデータの集合体(ファイル)を動的に管理すべく、その管理情報の正しさをチェックし、異常の場合はこ

れを修復し得るようにした、ファイルの管理方法に関する。

〔従来の技術〕

ディスクを含む補助記憶媒体上のファイルを管理する管理情報には、ファイルアロケーションテーブル(以下、FATとも云う。)、ルートディレクトリテーブル(以下、RDIRTとも云う。)およびサブディレクトリテーブル(以下、SDIRとも云う。)と称されるものがある。FATはファイルやSDIRが記憶媒体のどこのクラスタ(ファイルを管理する最小単位)にあるか、およびそのクラスタの連結状態や空きのクラスタの位置等、記憶媒体の使用状態について記憶しているテーブルであり、RDIRTはファイルの名前や、ファイルの記憶媒体上の位置を示す先頭クラスタの番号、ファイルサイズ等の情報が入っているテーブルのことである。また、SDIRTはRDIRTと同じ構造を持ち、ルートディレクトリと呼ばれるファイルの集合体の中にさらに作られるところの、サブディレクトリと呼ばれる、子供のファイル